

「*Burkholderia pseudomallei* が産生する毒素は、転写開始因子 eIF4A のヘリカーゼ活性を阻害する」

富山県立大学では、本学教員の研究成果や外部講師による講演などを「地域連携公開セミナー」として、地域の方々に公開しています。

今回は、生物工学研究センターセミナーとして英国シェフィールド大学分子生物および生物工学科のデビッド ライス 教授をお招きしてご講演いただきます。
多数のご参加をお待ちしております。

日 時 平成25年3月29日(金)

15:30~16:30

場 所 富山県立大学生物工学研究センター
1階 共同会議室(K115)

【生物工学研究センターセミナー 15:00~16:00】

◆テーマ

「Discovery of a lethal toxin from the pathogen *Burkholderia pseudomallei*」

◆講 師

デビッド ライス 氏（英国シェフィールド大学 分子生物および生物工学科 教授）

◆概 要

細菌 *Burkholderia pseudomallei* 由来の BPSL1549 蛋白質の立体構造は、大腸菌由来の細胞毒性壊死因子 (cytotoxic necrotizing factor 1) と類似性を示す。BPSL1549 蛋白質は、真核細胞に対して強力な細胞毒素として作用し、ネズミに対して致死作用を示す。BPSL1549 蛋白質の遺伝子の発現レベルは、細胞毒性を左右する。また、BPSL1549 蛋白質は、転写開始因子 eIF4A の 339 番目のグルタミンの脱アミド化を促進し、そのヘリカーゼ活性を失わせ、転写を阻害した。以上から、従来機能未知だった BPSL1549 蛋白質を「*Burkholderia pseudomallei* BPSL1549 致死因子1」と呼ぶことを提唱する。

◆参加料：無 料（※事前のお申込みは不要です。）

◆本セミナーは英語により行われます。（通訳はございません。）

【お問合せ先】

富山県立大学工学部生物工学科 教授 浅野 泰久

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

TEL : 0766-56-7500 (内線 520) FAX : 0766-56-2498

E-mail : asano@pu-toyama.ac.jp

【主催】富山県立大学

(地域連携センター、生物工学研究センター)

